

2017年3月15日（水）～16日（木）

1. 震災・復興とリスクマネジメント () 2. 国際都市神戸と世界の文化 () 3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ (○)
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸 () 5. その他 ()

〔概要〕3月15日（水）から16日（木）にかけて EU 研修を実施しました。4年生、5年生が対象のプログラムです。4名の生徒が参加しました。ドイツ大使館訪問、外務省 OB の方や元在外日本大使の方に直接お話を聞く機会を得て、大変充実した研修となりました。春季休業期間中には、神戸大学 大学院国際文化学 研究科 坂井一成教授の研究室を訪問し、坂井先生から各自の課題研究を深めるためのアドバイスを頂く機会を設けています。

3月15日（水） 第1日目



東京到着後、すぐに向かったのがドイツ大使館。厳重なセキュリティーチェックを終え、担当者の方から大使館内を案内していただきました。

ドイツに関する基礎知識として、担当者の方からユーモアを交え、クイズを出題していただきました。その後、事前に送付していた質問に答えていただきました。その場で質問した内容についても丁寧にお答えいただきました。

大使館の方から私たちへお土産をいただきました。ドイツパンです。プルッツェルが特に美味でした。



ロビーにて記念撮影。

昼食後、外務省 OB の田中享氏より特別講義をしていただきました。世界地図を広げ、生徒たちにわかりやすく国際情勢や地政学の基本的事項についてお話しをしていただきました。

続いて衆議院を見学しました。初めて国会内部を見学した生徒もいて、係員の説明を熱心に聞いていました。ここだけ、唯一写真撮影が許可されていました。

3月16日（木）



早朝からハードなスケジュールでしたが充実した一日となりました。国会前にて記念撮影。

研修の締めくくりとして、元サウジアラビア駐在特命全権大使の遠藤茂氏より特別講義をしていただきました。サウジアラビア国王訪日行事に参加されており、大変お忙しい中でしたが、私たちのために時間を割いて、熱心にお話しいただきました。

今回の研修をきっかけにして、移民難民問題から世界がどのような構図で動き出しているのかを知ることができたと述べた生徒もいました。次回は神戸大学にて、坂井一成教授の研究室を訪問し、課題研究の深化を図る予定です。

参加生徒の所感（一部抜粋）

○大使館自体に入ることが初めてだった私にとって何もかもが刺激的でした。実際にドイツ大使館職員の方への質問では私が今年度研究して出てきた課題点や課題、より深める必要があった部分を改善することができ、大使館に入る前に立てていた目標を十分に達成できたと確信しています。

○日本人は近年のグローバル化によって海外の文化に飲み込まれやすく日本人が日本人であるという意味をわかる必要があり、移民が多く日本に入ってくることをマイナスに捉えるのではなく交流をする事でお互いを理解することが重要である。